



- 河川に囲まれた新旧調和の景観ゾーン
- 旧日光街道地区景観形成地区
- 景観重要道路
- 足立60景

応募者コメント

1 「夕暮れ時の旧道」

陽が落ちるのが早い冬・夕暮れ時・商店街の雰囲気相まって、とても良い雰囲気でした。

2 「宿場町通り商店街」

足立区在住ですが、社会人になってお酒を飲むようになってからよく通るようになりました。いつ通っても人がいて、心地よいです。

3 「旧日光街道に地口行灯が並ぶ風景」

江戸時代から千住で継承されてきた文化、地口行灯は、現代の視点で見るとかえって新しく感じます。古くて新しい「千住」を象徴する風景のひとつだと思います。

投票者コメント

- ・昨今は駅前開発が進みどこの駅前も差異がなくなっています。近代化とともに古き良き宿場町の名残を維持していただきたいと願います。
- ・少なくなった下町の商店街に哀愁を感じる
- ・「故」と「新」が交わりあう千住の「イマ」を如実にうつし出している。

委員コメント

- ・にぎわいの雰囲気のストリートスケープとして評価する。
- ・日光街道という歴史的な街並みを想像するが、実際に歩いてみるとノスタルジックな昭和の街並みを感じる。
- ・商店街のにぎわいとともに、横に走る路地の親しみやすい雰囲気がある。道としての「線」よりまちとしての「面」として評価したい。

- 河川に囲まれた新旧調和の景観ゾーン

応募者コメント

1 「三四半世紀 守られてきた 路地風景」

路地は1945年建築基準法制定後つくることができない道となり、建物再建により消滅する運命にあります。千住には多くの路地が存在します。2つの川に囲まれた地形的な特性により三四半世紀守られてきました。多くの千住好きによって使い込まれてきたこの場所は、他では見ることの少ない風景を作っているようにも思います。

2 「千住四丁目の路地」

散歩していたら、路地を見つけました。千住には楽しい路地が沢山あるので、もっと探してみたいです。

3 「路地裏の木電気」

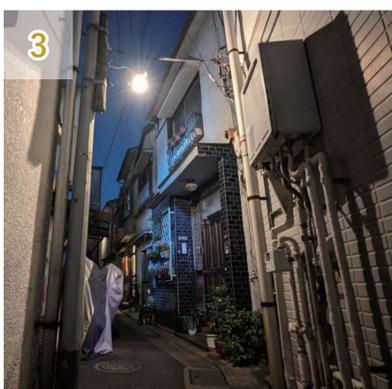
柳原千草通り付近に今も現役で活躍する「木電気」です。その他、千草通り付近は現在はなかなか見れない「路地裏」がありますね。昭和ノスタルジックの象徴であり、この形の街灯は数少なくなりました。

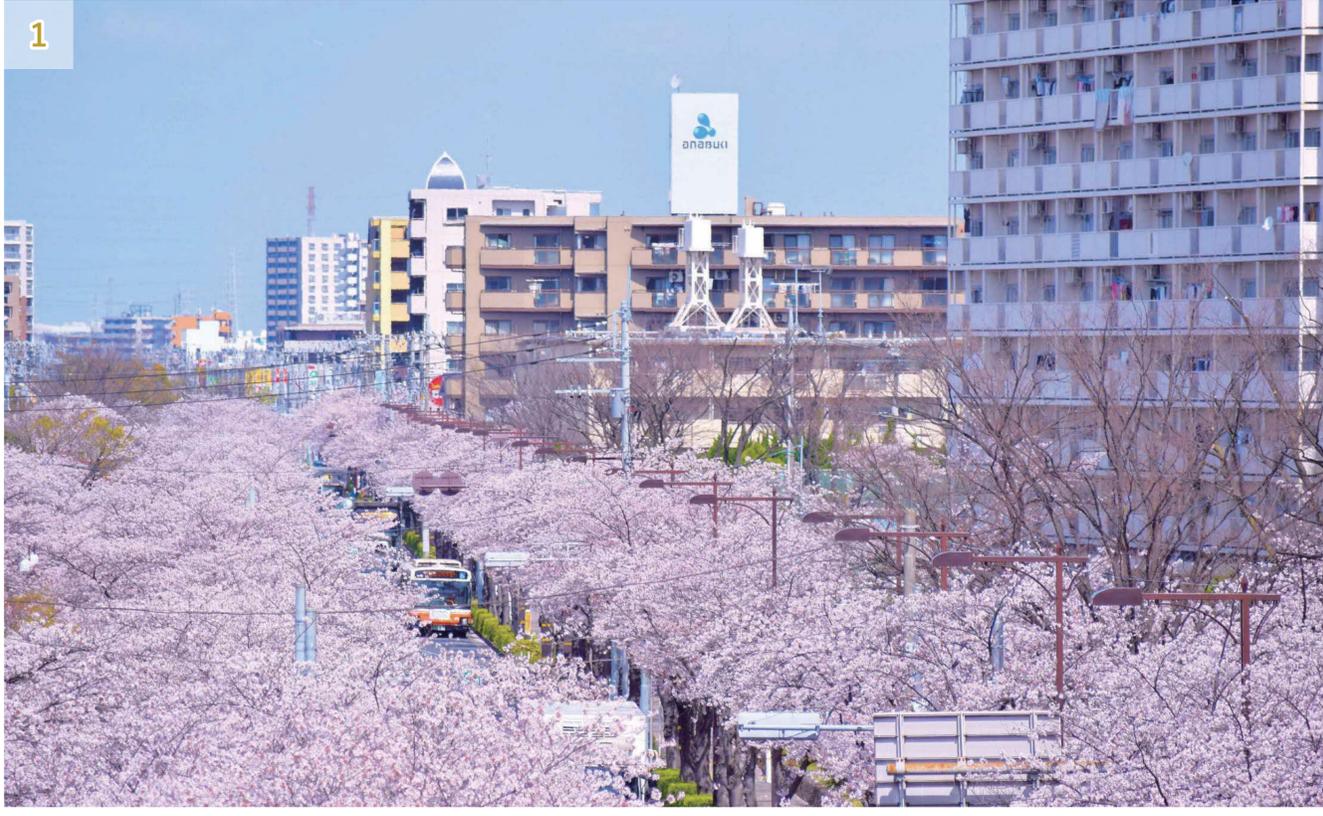
4 「柳原の「木デンキ」」

千住/柳原二丁目エリアにある陣笠外灯群です。約30箇所現存しています。地域では「木電気」（木製の電柱に陣笠裸電球）と呼ばれています。すべてが、木製の電柱ではないですが、共有で路地に面して通常より低い位置に灯りが設置されており、素敵な灯りの風景を作っています。夕方や朝方に見ていただくのも素敵な風景です。

委員コメント

- ・路地は防災上、利便上今後解消していく方向性のもではあるが、路地景観は多くの人を引き付ける独特の魅力を持っており、北千住においては観光的な魅力にもなっている。足立区を住みよいまちとしていくために路地景観から学ぶことは無いか議論し、将来のまちづくり、景観づくりに活かすべきである。





- 身近な水と緑の景観ゾーン
- 景観重要都市公園 ・足立60景
- 足立区内の用水路の整備1992年（葛西用水路自体は1660年開設）

応募者コメント

1 「桜銀河」
毎日通る葛西用水桜通りが、春になり少しの間だけ桜色に彩られている幻想的な風景が、団地やマンション・バスなどの生活感のある景観と合わさっている様子を少し高い位置から見下ろした時、日常の中であって非日常を感じられ、目を奪われました。

投票者コメント

・桜がきれいだった。
・良くまとまっている。
・毎年桜を楽しみにしている
・桜並木と団地の競演、この区ならではの感じがした。
・桜がきれい、こんなところをのこしておきたい

委員コメント

・相当な距離の桜並木が続いているが、桜の時期だとそれがよく分かる。
・足立区だけでなく北の草加市まで続く桜並木が素晴らしい。
・葛西用水親水水路は区内最大規模の親水公園で、線路に沿って歩道や緑地が整備されており、桜並木の景観を成立させる重要な要素となっている。

- 身近な水と緑の景観ゾーン

応募者コメント

1 「六木の畑の風景」
埼玉の祖母の家に行ったような気分になります。のどかで心地よいです。

投票者コメント

・都内でもこんな風景が見られる場所があるんだと思いました。

委員コメント

・屋敷があり、その前や裏に畑がある雰囲気は、足立区原風景である。
・現在、多くの地区で整理された区画に住環境を整えられた一因に、農業者たちが結束して区画整理事業にとりくんだ歴史がある。農の風景は足立区の歴史的アイデンティティでもある。
・地産地消の給食や直売所は区の魅力になっている。農地の維持はあくまでも農家の意思によるものだが、住宅が増加した現在、まちなかの農地は粉塵や虫の発生など苦情をうけることもある。風景資産として農地の価値を区民と共有して、意欲のある農家を応援したい。

